

東広島医療センター 呼吸器グループ

Updated Topics and Report (10th issue)



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東広島医療センターの呼吸器グループは、広島中央医療圏において日常診療に携わっておられる先生方へ定期的に“**Updated Topics and Report**”をお届けしております。

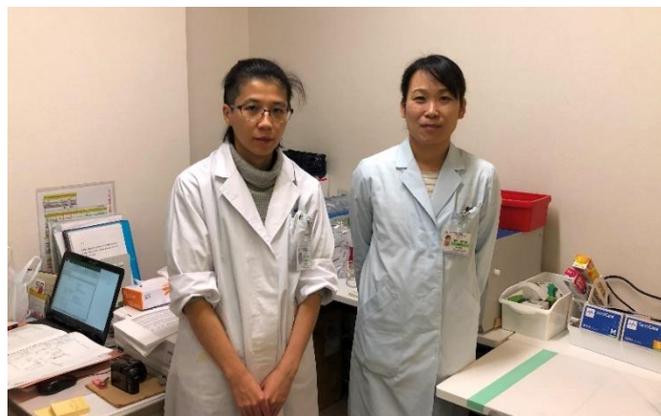
当グループは地域医療機関の先生方から多くの患者さんをご紹介いただき診療実績を積み上げてまいりました。今後も先生方や地域住民に信頼していただける医療を提供できるよう診療レベル向上に努めていくとともに、情報発信も行っていきたいと考えております。ご多忙中のところと存じますが、本誌を診療の合間にお読みいただければ幸いです。

今回は『**院内の研究室で行っている基礎研究について**』と症例報告『**径 1cm 超の異常血管を認めた肺分画症 (3D-CT と ICG 蛍光ナビゲーションの有用性)**』および『**広島がんネット肺がん医療ネットワーク**』についてのお知らせです。

2020 年 7 月

▶ 東広島医療センター内の研究室で行っている基礎研究について

当院の臨床研究部における一部門として院内に基礎実験を行っている研究室があります。もともとは昨年お亡くなりになられた村上功先生（呼吸器内科）が長年にわたり研究活動を続けてこられた部署です。研究室には現在、研究補助員 2 名が在籍し（左下写真）、主に呼吸器グループと乳腺外科グループが基礎的な研究および臨床研究を行っています。



癌の発生や進展・転移などに関する主なメカニズムである遺伝子異常には、遺伝子配列そのものの変化（ジェネティクス異常）に加えて、遺伝子に特殊な修飾（メチル化など）が加わることで情報がうまく読み取られなくなるメカニズム（エピジェネティクス異常）があります（右下図）。

本研究室ではこれら遺伝子異常と実臨床における肺癌の治療成績との関連性について、現在いくつかの研究プロジェクトを進行させており、その成果を国際学会や国内の学会等で発表しています。

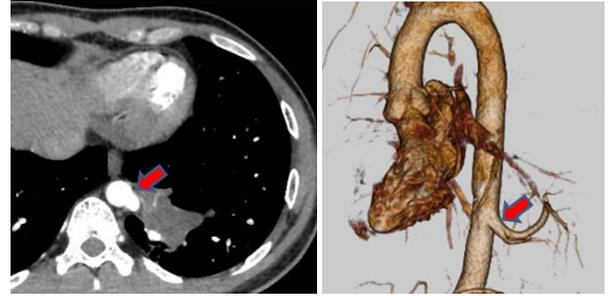
当院のような地方の一病院でも独自性の高い研究成果を世界に向けて発信できるように、常にアンテナを高くしアイデアを絞り出し、臨床面に加えてアカデミックな取り組みも続けていく方針です。



▶ 径1cm超の異常血管を認めた肺分画症(3D-CTとICG蛍光ナビゲーションの有用性)

(症例) 20代の男性。発熱と背部痛を主訴に前医を受診され、肺腫瘍を伴う肺炎疑いにて当院へ紹介された。呼吸器内科にて肺炎治療を行い一旦軽快したが、精査目的に造影CT検査を行った。

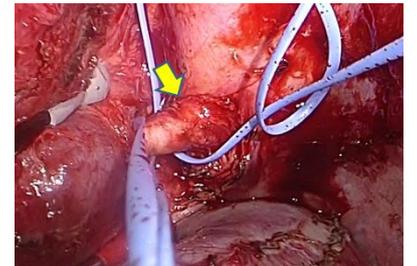
(画像所見) 左肺下葉に最大径42mm大の腫瘤様陰影を認め、同領域には大動脈から径1cmを超える分枝が流入していた(右図・赤矢印)。



3D-CTにて左下葉肺底部の背側において正常気管支および肺動脈と明らかな交通を持たず、大動脈からの異常流入動脈により還流される領域が認められた(左図)。

(呼吸器グループカンファレンス) Price 3型の肺葉内肺分画症と診断され、手術療法(異常流入血管の切離と分画肺切除)の方針となった。

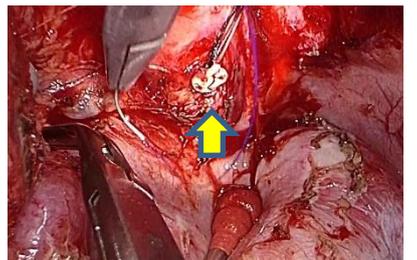
(手術所見) 異常流入血管の径は1cmを超えていること、血管壁の脆弱性が否定できないこと、周囲は肺炎の影響も高度であることを想定し、心臓血管外科と協議の上、小開胸直視下で異常血管



を結紮切離した(右図・黄矢印)。分画肺の範囲はICG蛍光ナビゲーションを用いて正常肺との境界を確認し(左図)、自動縫合器で分画肺を切除した。



(病理検査所見) 流入血管は大動脈やその直接分枝でみられる弾性血管(壁中膜に平滑筋細胞に加え弾性線維が豊富)



でなく、臓器内の末梢血管でみられる筋性血管(壁中膜は平滑筋細胞が主体)であった。分画肺内には多房性嚢胞性病変を認め一部黄色肉芽腫を形成していた。

(考察) 肺葉内肺分画症の手術において、評価が重要な異常流入血管の状況および分画肺の領域を判定する上で、3D-CT画像およびICG蛍光ナビゲーションが大変有用であった1例を経験した。

▶ 広島がんネット肺がん医療ネットワークにおける総合診断治療施設に登録されました

広島県のがん情報サポートサイト「広島がんネット」において、当院は肺がん医療ネットワークにおける『**総合診断治療施設**』に登録されました。このカテゴリーはネットワークにおける最上位に位置するもので、症例数や専門医・認定医の数、診療機能の充実度など16項目の基準をみたした県内9施設が認定されており、現行で**広島市・福山市を除くと当院のみ**が登録されています。

東広島医療センター呼吸器グループは、**最高レベルの医療を提供できるよう、充実したスタッフによる最良の診療を心掛けてまいります。**また**原則としてご紹介いただいた患者さんは、ご紹介元の先生に逆紹介するように心がけております。**東広島医療センター呼吸器グループに対するご意見・ご不満・ご質問・ご感想、またお知りになりたい情報等ございましたら担当医もしくは地域連携室までご連絡ください(地域連携室 FAX: 082-493-6488)。